

いのちについて。

平成 30 年度下関市いのちの日

# 歩と生きる



全校道徳  
講演会

下関市立 長府中学校

講師  
中谷加代子 さま

13時45分。



生徒の体育館入場が  
始まりました。

この日、  
長府中学校は、

全校道徳として、  
全学年・職員が



体育館に集まり、  
講演を聴きました。



『明日、4月13日は、  
下関いのちの日です』

校長先生のお話



『この講演を通じて、

自分のいのちを大切にし、

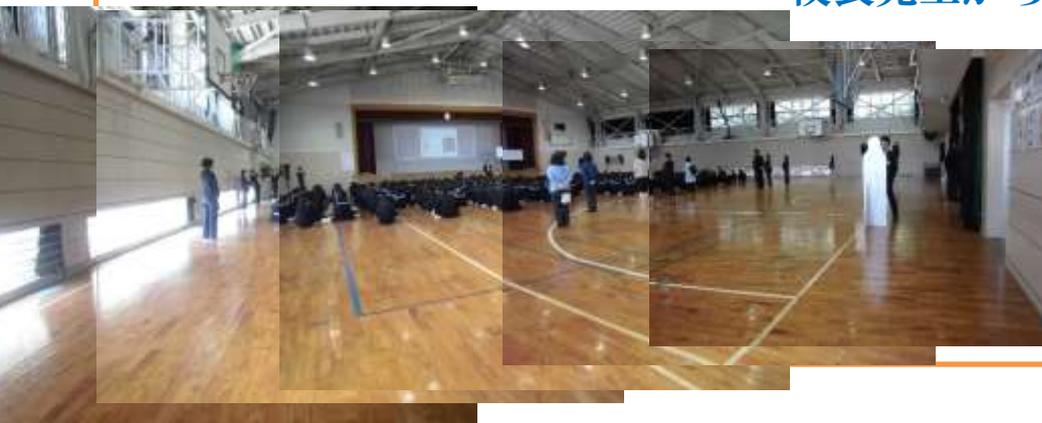
いのちを大切にすることを

今一度、全校生徒で考えてもらいたい』

とのお話の後、

校長先生から講演者の紹介が

ありました。



2



お招きした講演者は、  
中谷 加代子 さんです。



演題は、  
『歩と生きる』。



目をそらしてきたのでは？

人と人が支えあうこと、



人と人がふれあうこと。  
自然に対してのやさしい気持ち。

『しあわせって思えること』





『生きているしあわせを、

いっぱい感じて、  
生きてほしい』



『**自分**の力が  
見えなくなったら・・・

思い出してください。

みなさんは、  
そこにいてだけで  
力があるんです』

と中谷さんの言葉は、  
存在感を持って、私たちの心に  
響きました。



等身大の人型オブジェ。

本人の写真と  
メッセージ。

足下に靴。

それを『メッセンジャー』と呼んでいます。



講演を終えて。

生徒は教室に戻り、



胸の中に浮かぶ、様々な思いを、



書きとめていました。



あおく、

透き通るように、  
どこまでも碧い空の下、

筆記用具の音が、  
『いのちのゆくえとちから』を  
奏で続けていました。

いつまでも、いつまでも。